



くらしをまもり
未来をつくる

くらしをまもり未来をつくる

31年ぶりの1万円超え！

2023春季生活闘争最終集計結果を公表



くらしをまもり
未来をつくる

連合熊本は7月7日、2023春季生活闘争における最終の賃上げ集計結果を公表しました。熊本県内の定昇相当を含む賃上げ額は、10,576円・3.80%（昨年比4,802円増・1.65ポイント増）と、1万円を突破し全国平均を上回る結果となりました。賃上げ額が1万円を超えるのは1992年以来31年ぶりであり、賃上げ率が3%を超えるのは、1994年以来29年ぶりとなります。また、報告のあった76組合のうち、ベアを獲得したのは68組合（89.5%）であり、ほぼ9割の組合でベアを獲得しました。さらに、定昇とベアを合わせて3%以上という組合が40組合・

52.6%と過半数を占め、その最高額は20,000円でした。業種別に見ても、すべての業種でベアが報告されていますが、特に製造業と商業流通を中心に大幅な賃上げがなされ、全体を引き上げました。熊本においても、労使が粘り強く交渉した結果と受け止めています。最終評価については、これから機関会議を経て取りまとめることになりますが、労働組合が社会を動かしていく「けん引役」として、昨年に引き続き今年も一定の役割（末組織労働者の賃上げ、及びこれから始まる最低賃金の審議などに対する世論喚起）を果たすことができたと受け止めています。

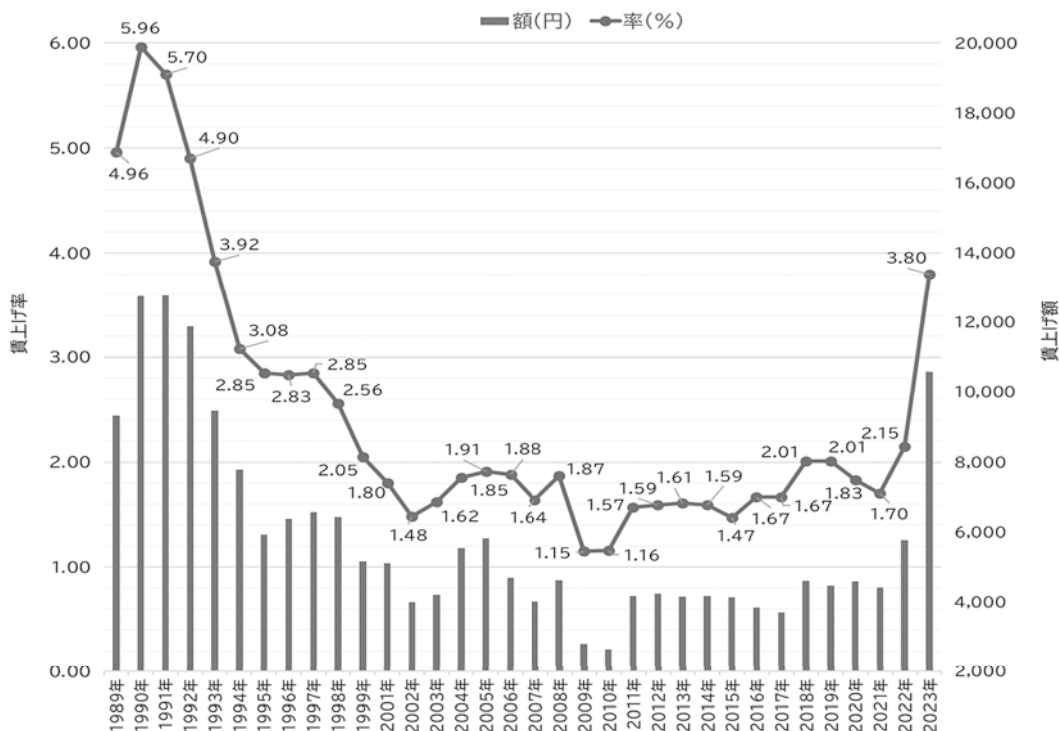
熊本集計

組合員数による加重平均（月額）

平均賃金方式		2023回答（2023年7月7日公表）			昨年対比	2022回答（2022年7月7日公表）		
		組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計		組合数	定昇相当分込み賃上げ計	定昇相当分込み賃上げ計
		組合員数				組合員数		
		76 組合 21,809 人	10,576 円	3.80 %	4,802 円 1.65 ポイント	72 組合 17,556 人	5,774 円	2.15 %
300人未満		52 組合 5,784 人	7,482 円	3.12 %	2,794 円 1.18 ポイント	53 組合 5,923 人	4,688 円	1.94 %
300人以上		24 組合 16,025 人	11,693 円	4.05 %	5,127 円 1.73 ポイント	19 組合 11,633 人	6,566 円	2.32 %

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

連合熊本 賃上げ集計推移 （平均賃金方式・組合員一人当たり加重平均）



未来づくり
春闘



インフレの中、最低賃金の審議がスタート

熊本県における2023年度の最低賃金(最賃)を改定する審議会が、2023年7月5日(水)熊本地方合同庁舎において始まりました。審議会の構成は、労使の代表各5人と学識者5人の計15人となっており、連合熊本からは、西副会長(UAゼンセン)、森田副会長(情報労連)、山本事務局長、猿渡副事務局長、そして地域協議会から県南地協の花岡事務局長の5名が労働者代表委員として参画しています。当日は新田労働局長から審議会の倉田会長に諮問書が渡され、熊本でも最低賃金の審議がスタートすることとなりました。昨年は、32円アップと中央が示す目安を2円上回り、さらに現方式での最高額となりましたが、現在の熊本県の最賃額は853円と全国最下位グループにあり、九州トップの福岡県の900

円と比べても47円、最高額の東京(1,072円)とは219円もの格差があります。使用者側はコロナ禍の影響が残り、原材料高、エネルギー高、人手不足による倒産の増加など、企業への影響が大きくなっているなか、大幅な引き上げは厳しいと主張することが予想されます。これに対し、労働者側としては、世界的なインフレの流れが、



最低賃金審議会

日本においても始まっており、生活者の最低限の生活を守るためにも、近年の引き上げの流れを止めるべきではなく、大幅な最賃引き上げを主張して参ります。

今後、中央審議会が月内にも示す目安額を踏まえ、10月1日の発効を目指して、8月初旬の決着に向けて全力で取り組みます。



新田労働局長から諮問書を受け取る審議会の倉田会長

就職差別撤廃に向けた取り組みを要請

部落解放共闘熊本県民会議は7月10日(月)に熊本県私学協会、7月20日(木)に熊本県、熊本県教育委員会、熊本労働局、7月27日(木)に熊本県経営者協会、熊本県商工会議所連合会、に対し就職差別の撤廃に向けた取り組みを要請を行いました。連合熊本からは共闘会議の議長である友田会長、事



熊本労働局との意見交換

務局長である山本事務局長、会計監査である徳富副事務局長が参加しました。

職員の採用に際しては、仕事をする上での能力や適性と関係のない個人情報収集は職業安定法で禁じていますが、連合が実施したアンケート調査結果でも、家族の職業や本籍地、宗教、支持政党など、能力・適性等とは関係のない情報を収集する企業等が多数あることが分かったところであり、特に

戸籍謄本の提出や性別に関しては前回調査より悪化しています。このようなことから、要請では、採用差別が起きないように、厚生労働省の参考様式に準じた応募様式の徹底、企業の役員や人事担当者に対する研修の強化等を要請しました。

解放共闘会議を組織する団体は、連携して今後もあらゆる差別の撤廃に向け取り組みを進めて参ります。

連合「就職差別に関する調査(2023)」結果(抜粋)

- ・会社独自の履歴書を提出するよう求められた(大卒者の54.4%)
- ・結婚の予定を面接で聞かれた(19.2%)
- ・応募書類で本籍地や出生地に関する記入を求められた(43.6%)
- ・性的指向を確認された(8.9%)

編集後記

今年も就職差別撤廃行動に参加しました。近年、人材の争奪戦が激しくなっている中ですら、採用に際して差別が解消されていない現実には本当に嘆かわしいものであり、解消に向けた行政や企業等の取り組みの強化が求められます。一方、最低賃金の審議もスタートしました。現状から引き下げるべきとの意見を持つ経営者も一定あるようですが、現水準では生活の維持が困難な労働者が少なくなく、生産性を上げることで、必要な賃金を支払えるよう経営力を高めていってほしいと思います。出身地や性別、思想などにとらわれることなく、適性ある人材を採用することで生産性を上げ、賃金の底上げを図っていくことを、私たちは強く求めています。

(talk to me)

Topics RENGOKUMAMOTO

友達になってください

連合のLINE公式アカウントが更新され、メニューも一新されました。連合の様々な情報へアクセスできるようになりましたので、下記のQRコードから是非友達登録してください。

友達追加URL
<https://lin.ee/HxbetmJ>



連合LINE公式アカウントQRコード

今後の主なスケジュール

- 8月5日 火の国まつり
- 8月5～6日 平和行動 in 広島
- 7日 連合熊本第3回役員推薦委員会(第18期)
- 8～9日 平和行動 in 長崎
- 12日 連合熊本第3回青年委員会四役会議
連合熊本第5回青年委員会幹事会
- 18日 連合熊本第23回執行委員会
連合熊本第5回構成組織・地協代表者合同会議
連合熊本第6回地協議長・事務局長会議